

充実段階評価の見直しについて(平成30年の評価より適用)

〈評価期間〉

平成30年実績(平成30年1月から平成30年12月)の評価より行う。

※従前の各年度の実績から、各年の実績に変更。

〈評価の項目〉

(旧)評価項目:37項目(101点)、是正を要する項目:17項目(70点)

(新)評価項目:45項目(100点)、是正を要する項目:20項目(点数なし。項目数にて評価)

赤字部分が新規追加または細分化した項目。

オレンジ塗り 是正を要する項目

1	救命救急センター専従医師数
2	1のうち、救急科専門医数
3	3.1 休日及び夜間帯における医師数
	3.2 休日及び夜間帯における救急専従医師数
4	救命救急センター長の要件
5	転院及び転棟の調整を行う者の配置
6	診療データの登録制度への参加と自己評価
7	7.1 年間に受け入れた重篤患者数(来院時)(別表)
	7.2 地域貢献度
8	救命救急センターに対する消防機関からの搬送受入要請への対応状況の記録及び改善への取組
9	救急外来のトリアージ機能
10	電子的診療台帳の整備等
11	内因性疾患への診療体制
12	外因性疾患への診療体制
13	精神科医による診療体制
14	小児(外)科医による診療体制
15	産(婦人)科医による診療体制
16	医師事務作業補助者の有無
17	薬剤師の配置
18	臨床工学技士の配置
19	医師及び医療関係職と事務職員等との役割分担
20	CT・MRI検査の体制
21	手術室の体制
22	救命救急センターの機能及び診療体制等に関する会議
23	第三者による医療機能の評価
24	休日及び夜間勤務の適正化
25	救命救急センターを設置する病院の年間受入救急車搬送人員

26	救命救急センターを設置する病院に対する消防機関からの搬送受入要請への対応状況の記録及び改善への取組
27	院内急変への診療体制
28	脳死判定及び臓器・組織提供のための整備等
29	救急医療領域の人生の最終段階における医療の整備
30	救急医療領域の虐待に関する整備
31	地域の救急搬送
32	地域の関係機関との連携
33	都道府県メディカルコントロール協議会又は地域メディカルコントロール協議会等への関与又は参画
34	救急医療情報システムへの関与
35	ウツタイン様式調査への協力状況
36	メディカルコントロール体制への関与
37	37.1 救急救命士の挿管実習および薬剤投与実習の受入状況
	37.2 救急救命士の病院実習受入状況
38	臨床研修医の受入状況
39	専攻医の受入状況
40	医療従事者への教育
41	災害に関する教育
42	災害に関する計画の策定

(参考)削除した項目

旧番号	評価項目
7	消防機関から搬送受入要請を受ける救命救急センターの電話等の状況
8	感染症の管理について
9	医療事故防止への対応
12	疾病の種類によらない受入れ

〈評価区分〉

【(旧)評価区分】

是正を要する項目(点数)		
A	B	C
B, C以外	22点以上 2年間継続	22点以上 3年間継続

【(新)評価区分】

区分の評価基準は、「是正を要する項目」と「評価点」ともに段階的に引き上げることとする

		是正を要する項目(項目数)			
		a評価 0	a評価 1~4	b評価 5~8	c評価 9~20
評価点	s評価 90~100	S	A	B	
	a評価 72~89	A	A	B	C
	b評価 36~71	A	A	B	C
	c評価 0~35	A	A	B	C

是正を要する項目

- 試行調査を踏まえ、9項目以上をC評価とする。
- S評価は0項目、A評価とB評価はその中間を基準とする。

評価点

- S評価の基準は、全項目2点である90点とする。